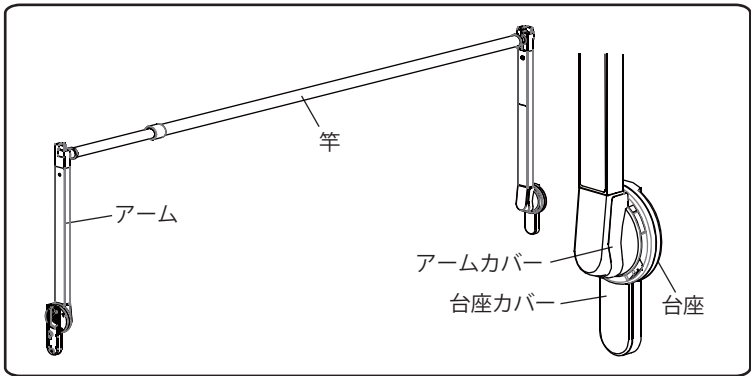
# 施工説明書

■施工される方へのお願い

●お客様にこの物干しを正しくご使用いただくために、施工説明書をよくお読みになり、指定された取付けを行ってください。
●施工終了後に、取扱説明書に従って、操作確認を行ってください。

## 各部名称

## 部品明細

下図に描かれた部品が揃っているかご確認ください。

■アーム部・・・1組



■竿部・・・1組



■位置決め用型紙・・・1組



■タッピンねじ・・・6本

皿 4.8×40

## 取付場所の確認

■施工条件

●適応するサッシの高さは 1,950 ～ 2,100mm、うちのり幅は 1,450 ～ 2,100mm です。
●アーム取付場所はサッシ額縁の見込み部分（50mm 以上）で、十分な強度がある個所。
なお、台座がアングルに被らないように（左右にない場合は、上下のアングルより前に）取付けてください。
また、クロス巻込みで額縁のない場合は、クロスの下に 9mm 以上の木の下地が必要となります。
●取付け時の注意事項
（注 1）額縁の手前に取付ける場合には、タッピンねじがちり部分から、とび出ないよう注意してください。

■取付位置関係図（高さ 2,000 の場合）

## 取付方法

**1** 位置決め用型紙を窓枠（額縁）にあて、前後方向の位置を確認し、任意の位置で点線を切り取ります。
（右側の窓枠には右用の型紙を、左側の窓枠には左用の型紙をご使用ください。）

前後方向の位置決め（右側）

**2** 型紙の上端を窓枠の上角部に合わせ、テープなどで仮止めします。

**3** 図の 1 ヶ所（中央）をキリなどを使って印を付け、型紙を外します。次に、木の硬さに応じて窓枠にΦ2.5 ～Φ3.0 の下穴を開けます。
注）下穴を開けない場合、木が割れることもあります。

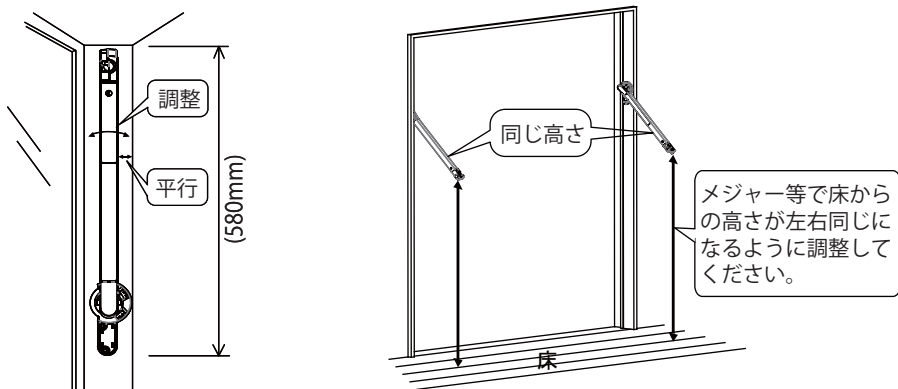
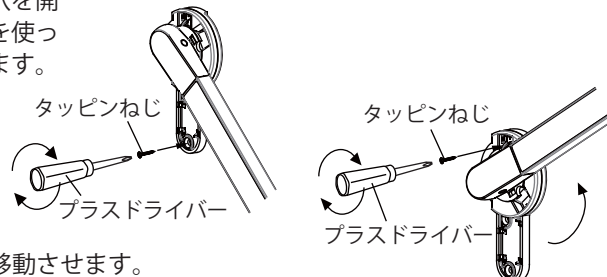
テープ
位置決め用型紙
サッシ
壁
窓枠
1 ヶ所のみ

⚠注意 ロールスクリーンやブラインド等のある窓枠へ取付ける場合、取付け位置によっては接触する場合があります。
施工の際には竿の動き等を確認の上、取付け位置を決めてください。

**4** 台座カバーとアームカバーを外してください。
（台座カバーは裏側より 4 ヶ所のツメを押してください。
アームカバーはスキマを利用して引張ってください。）

**5** 窓枠の下穴に台座の中央の穴を合わせ、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。

**6** 反対側の窓枠も 1 ～ 5 の作業を同様に行います。

**7** 次にアームの位置を調整します。まず、アームが窓枠と平行になるように調整し、さらにアームを手前に出したときに、左右のアームの高さが同じになるようにメジャー等を使って微調整します。

**8** 台座の下側の穴から窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。

**9** 次にアームを物干しの位置に移動させます。
続いて台座の上側の穴から窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。
最後に全てのねじが、しっかり止まっているか確認してください。
しっかり止まっていないと破損の原因になります。

**10** 4 で外した台座カバーとアームカバーを取付けます。

**11** 細いパイプと太いパイプを組み合わせます。

**12** アームの先端の穴に竿端部のボールを差し込みます。
（ロックがかかり、外れないことを確認してください。）
反対側も同様に取り付けます。
最後に取扱説明書に従って操作確認を行ってください。
なお、異常のある場合は、ご使用にならないでください。